資料⑧

市民の社会参加と主観的健康感

金沢大学　医薬保健研究域医学系

篠原もえ子

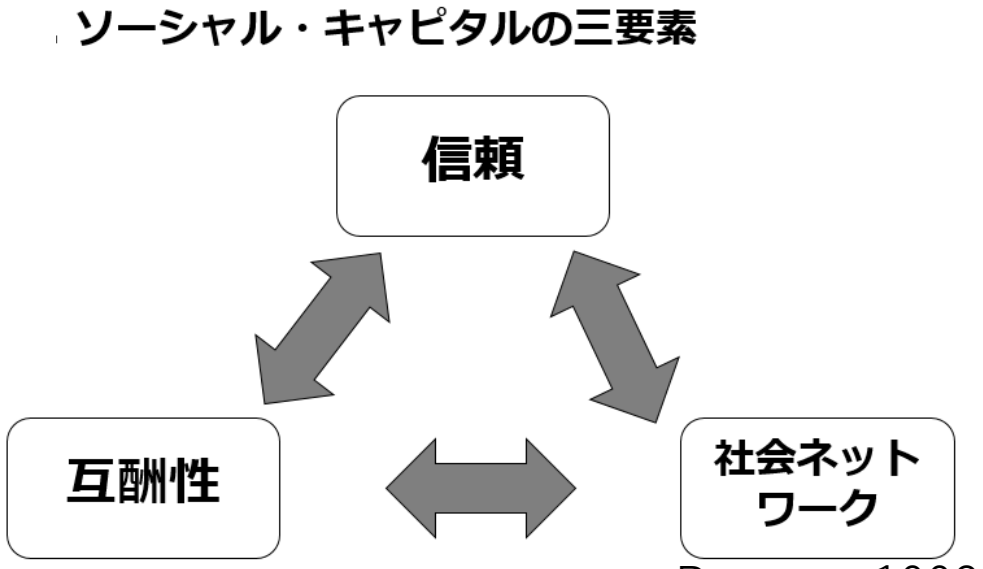
「がんばる羽咋創生総合戦略」の推進に係る共同研究等の
活動に関する報告会。2020年8月24日於　羽咋市役所

市民の社会参加

- 「社会参加」はソーシャルキャピタル（人々の協調活動により社会の効率性を高めることができる社会組織の特徴のこと）の指標の一つで社会ネットワークに分類される

- ソーシャルキャピタル指標には、ほかに「信頼」（人は信頼できるか？）や「互酬性」（お互い様と感じるか？）がある

「信頼」は社会ネットワークのなかで形成され、「社会ネットワーク」は互酬性なしには成立せず、「互酬性」も信頼なしには成り立たない



Patnum, 1993

主観的健康感とは

主観的健康感は**個人の健康度**のよい代替指標である[1]

主観的健康感　＝　個人の健康度

通常、下記のような質問で測定する

【Q】あなたはご自身の健康状態についてどのように思われますか
１．健康である
２．まあ健康である
３．あまり健康ではない
４．健康ではない

1. Sajjad, et al. Psychol Med 2017

背景・目的

＜背景＞

個人レベルのソーシャルキャピタルの高さは個人の健康度と関連するが、**地区**レベルのソーシャルキャピタルの高さと個人の健康度との関連は十分明らかになっていない[1]

本共同研究の

＜目的＞

過疎高齢化の進む羽咋市において

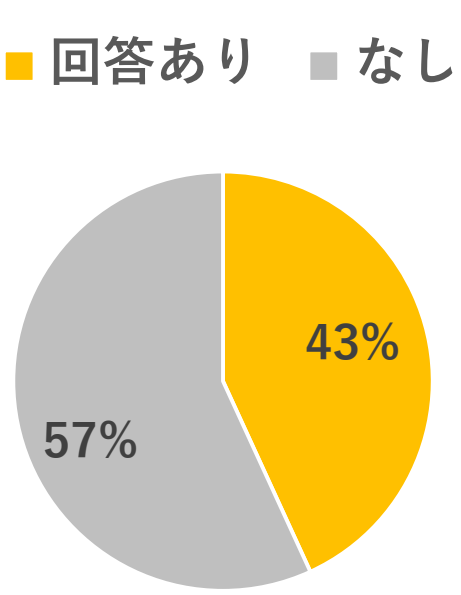
1. **地区（旧小学校区）のソーシャルキャピタルの高さ**と個人の健康度との関連を明らかにする

2. 個人の健康度と関連する**ソーシャルキャピタルの種類**を明らかにする

1. Rodgers, et al. Soc Sci Med 2019

方法

・がんばる羽咋の「全住民基礎調査」～これからの10年、安心と健やかさのまちづくりのために～アンケート（2019年9月実施）の分析



羽咋市全人口　21,975人（男性 10,405人、女性 11,570人）
40歳以上人口　15,242人（男性 7,008人、女性 8,234人）

アンケート回答者　6,578人（男性 2,912人、女性 3,629人）

回答率　43.2%
うち、年齢と主観的健康感に関する質問に回答がなかった507人を除く6071人のアンケートを分析した

金沢大学医学倫理審査委員会の承認を得て研究実施　承認番号2018-129（053）

ソーシャルキャピタル指標(1)

「信頼」

【問】一般的に人は信頼できると思いますか。

1．とても信頼できる
2．
3．
4．両者の中間
5．
6．
7．全く信頼できない

2点

1点

0点

「信頼」指標　0-2点

「互酬性」

【問】お住いの町内の人たちはみんな仲間だという気がしますか

【問】お住いの町内のためになることをして何か役に立ちたいと思いますか

1．そう思う
2．ややそう思う
3．あまりそう思わない
4．思わない

1点

0点

「互酬性」指標　0-2点

ソーシャルキャピタル指標(2)

「社会参加」

【問】あなたは次の活動にどの程度参加されていますか

（a）地域のお祭り

（b）地域の集会場や道路の掃除

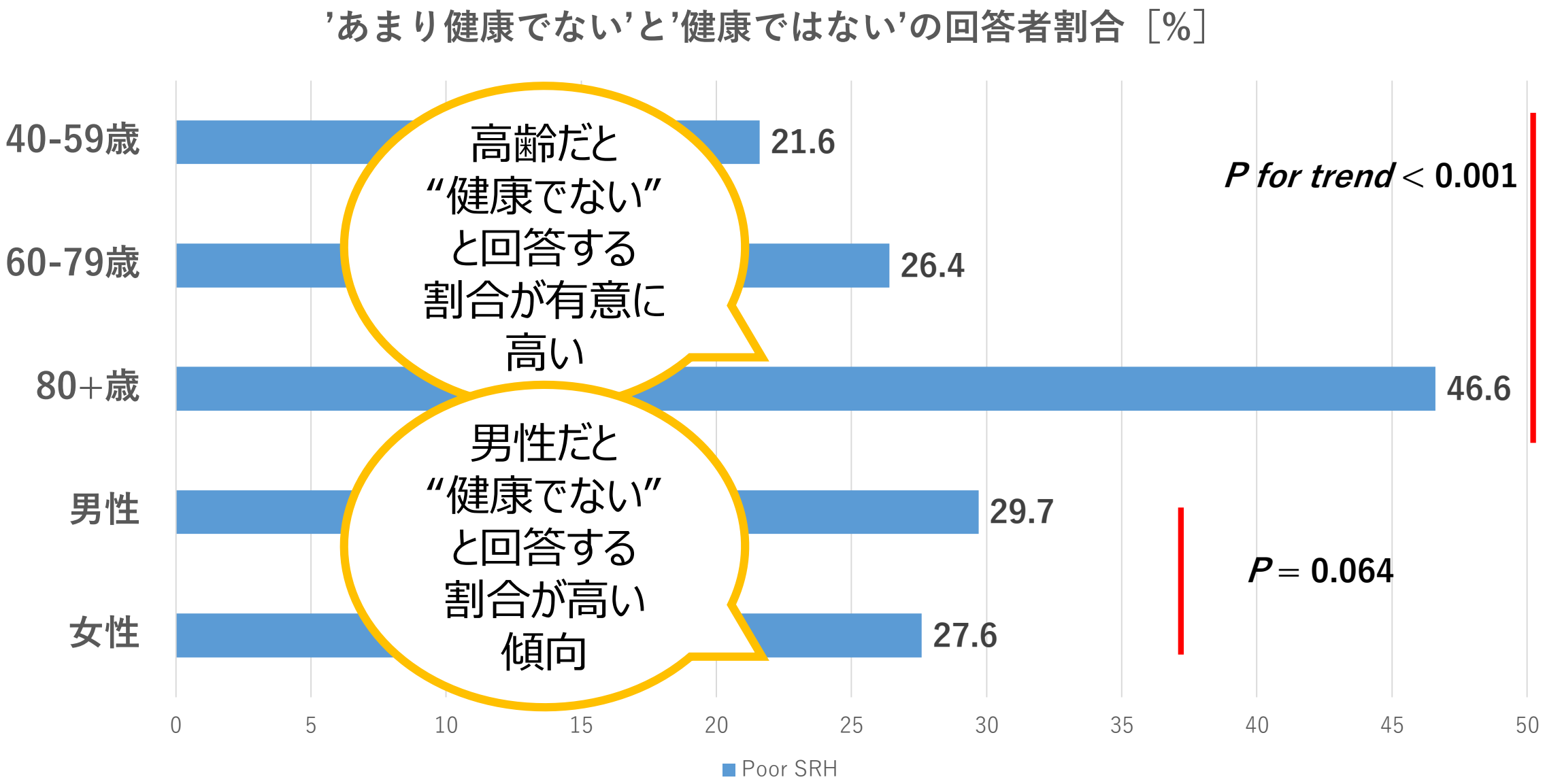
（c）町会・自治体の会合

1．必ず参加する
2．できるだけ参加する
} 1点

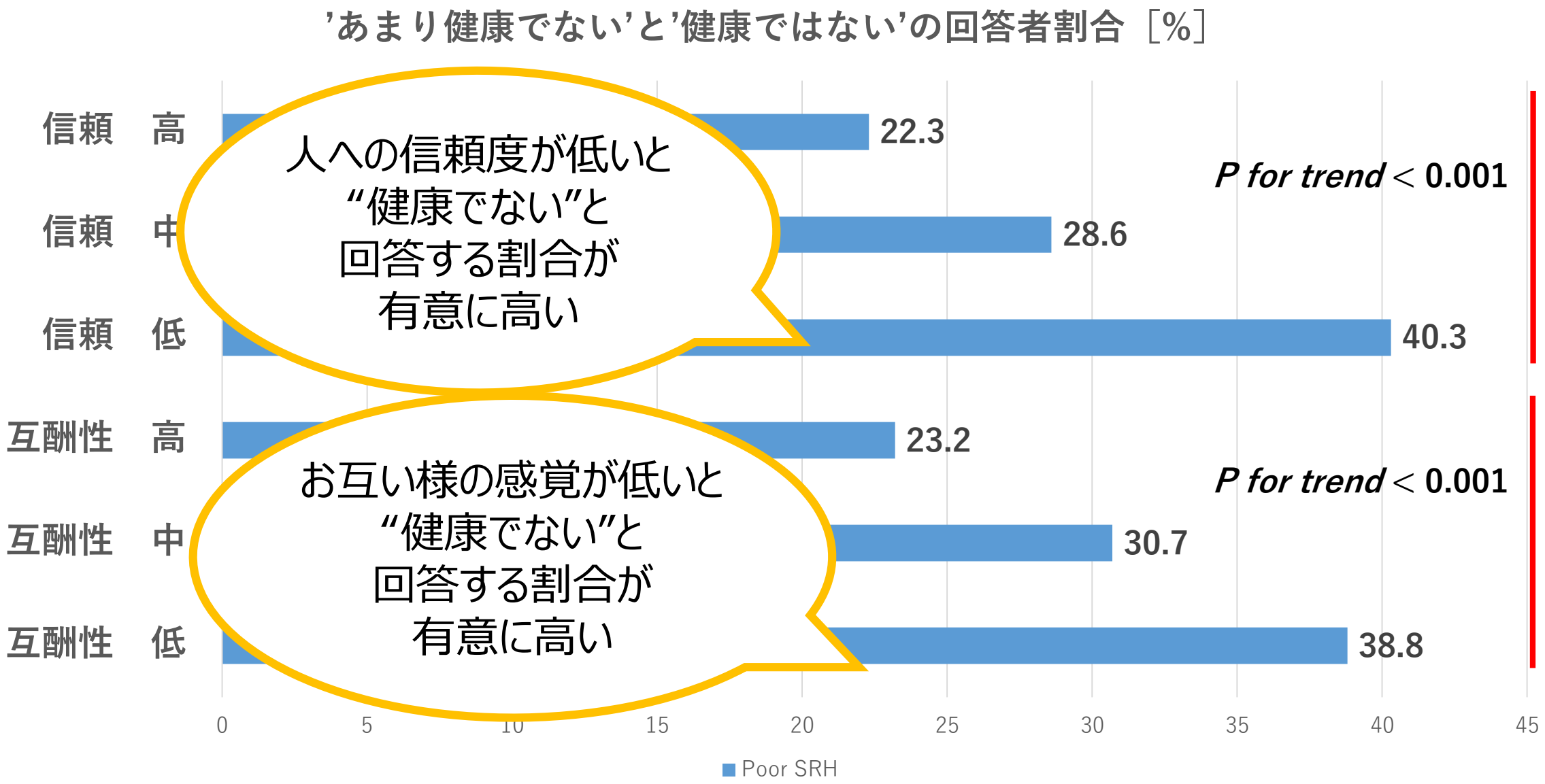
3．あまり参加しない
4．参加したことがない
} 0点

「社会参加」指標　　0-3点

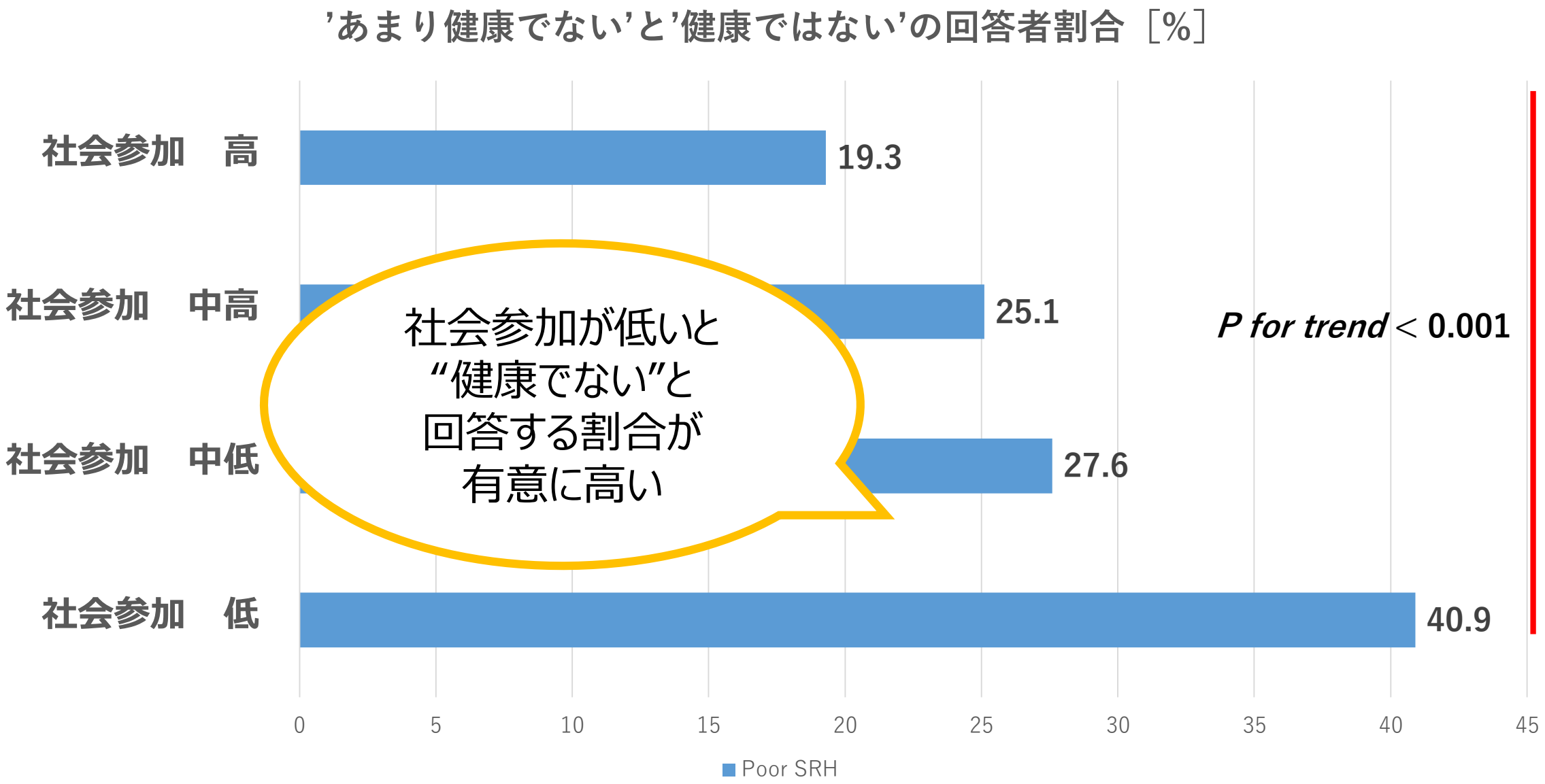
結果１：年齢・性別と主観的健康感



結果２：**個人の**「信頼」「互酬性」と主観的健康感



結果３：**個人の**「社会参加」と主観的健康感



結果４：**地区の**ソーシャルキャピタルと良い主観的健康感との関連

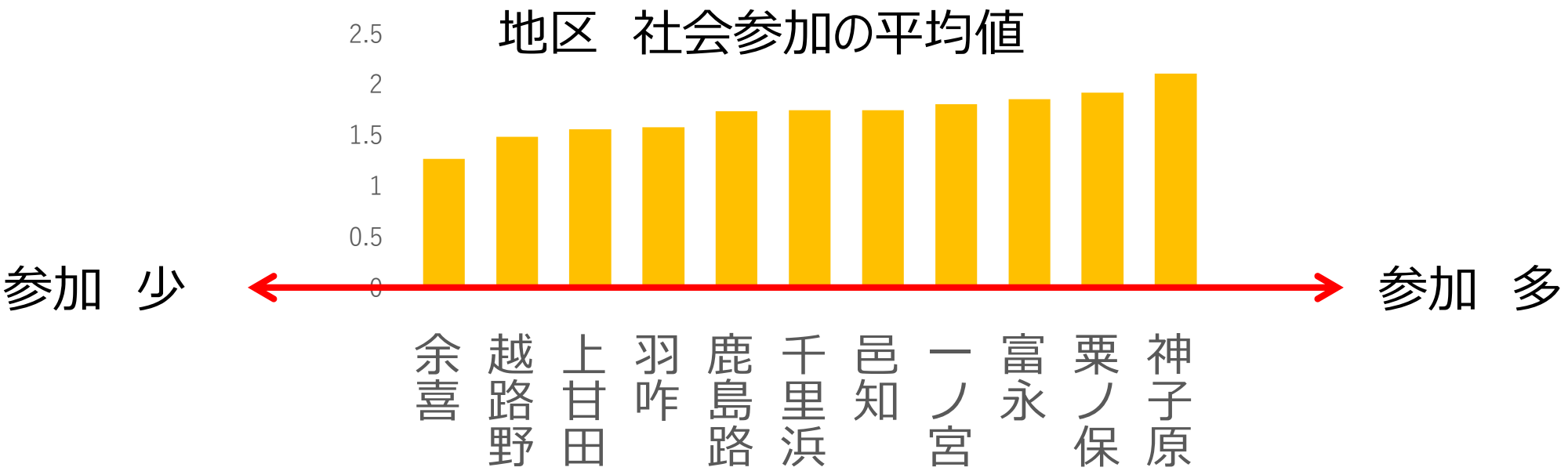
＊ $P < 0.05$

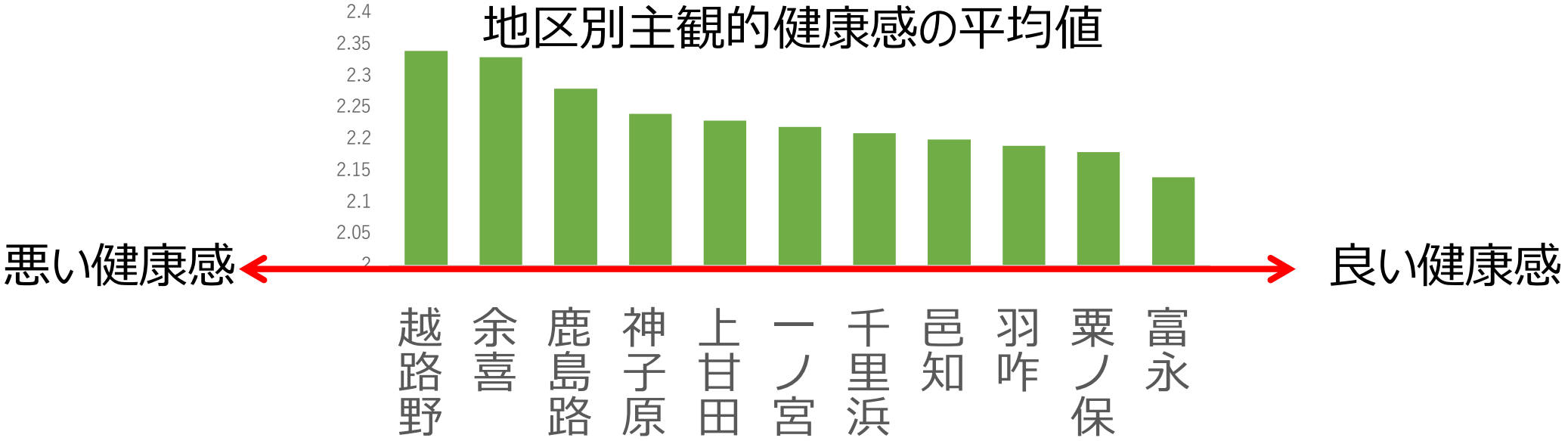
数字は推定値
正の値は良い主観的健康感との関連を示す
負の値は悪い主観的健康感との関連を示す

地区　社会参加が多いことと
良い主観的健康感とが有意に関連した

マルチレベル分析；調整因子：年齢、性別、教育年数、就労状況（就労なし、年数日以上、ほぼ毎日）、家族構成（独居、夫婦のみ、2世帯以上、その他）、個人レベルのソーシャルキャピタル（信頼・互酬性・社会参加）等

結果５：地区の社会参加と主観的健康感





本共同研究のまとめと今後の研究

【本共同研究のまとめ】

- 地区のお祭りや清掃活動及び町会の会合といった、大規模行事への社会参加が多い地区は住民の健康度が高い

地区の大規模行事に多くの住民が参加する環境作りは、その地区の住民の健康度を上げる可能性がある

【今後の研究】

- 大規模行事への参加が少なかった地区において、**住民が社会参加しやすい環境作りを試みて、その地区の住民の健康度があがるかを検討したい**

- 今回の研究は横断研究のため、社会参加がよい健康度をもたらしたのか、よい健康度の住民が社会参加しやすいのかが分からないので、**社会参加が健康に及ぼす影響を明らかにするために、縦断研究を実施したい**